

新たなMICE施設整備に係る基本方針（素案）

- MICEの開催は、消費の拡大やビジネス機会の創出などの「経済波及効果」や、文化・産業・人材育成等への「社会的波及効果」を生み、さらに、それらの相乗効果によって都市の競争力やブランド力の向上が期待されることから、本市では、昭和 60 年に「メッセ・コンベンションシティづくり基本構想」を策定して以降、出島地区における新たな MICE 施設整備の実現に向けて検討を行ってきました。
- この度、その後の本市のまちづくりの進展や社会経済情勢等の変化を踏まえ、新たな MICE 施設の整備地について改めて整理を行い、施設整備に係る基本方針を策定するものです。

1 経 緯

広島市の都市づくり

平成 13 年 「都市計画マスタープラン」策定【広島市】

出典:広島市都市計画マスタープラン

- 都心
- 広域拠点(宇品・出島、西部商工センター、西風新都、広島インターチェンジ周辺)
- 地域拠点(段原・皆実、己斐・福島・天満、横川、大町・古市、高陽、可部、海田・船越、五日市)

平成 25 年 「都市計画マスタープラン」改訂【広島市】

出典:広島市都市計画マスタープラン

- 都心
- 広域拠点(宇品・出島、井口・商工センター、西風新都、緑井)
- 地域拠点(西広島駅周辺、横川、古市、大町、高陽、可部、船越、五日市)

平成 29 年 「ひろしま都心活性化プラン」策定【広島県・広島市】

平成 30 年 「都市再生緊急整備地域」指定【国】

令和 2 年 「特定都市再生緊急整備地域」指定【国】

「都心の大改造」【広島市】

「都心周辺部の大改造」【広島市】

MICE 施設の整備

昭和 60 年 「メッセ・コンベンションシティづくり基本構想」策定【広島市】

- メッセ・コンベンション(以下「メセコン」という。)の拠点地区を、短・中期的(5～10 年以内)には「都心地区(会議)」と「商工センター地区(展示)」、長期的(15 年以内)には「出島地区(会議・展示)」に位置づけ

【出島地区】メセコン(会議・展示)の長期的拠点地区

昭和 62 年 「広島ポータルネットワーク 21 計画」策定【広島県】

- 出島沖地区におけるメセコン拠点施設の整備構想

平成元年 「広島港港湾計画」改訂【広島県】

- 港湾計画に出島沖地区のメセコン関連施設を位置づけ

※メセコン関連用地 約 52ha

■:メセコン関連用地 ■:ふ頭・港湾関連用地 ■:緑地

平成 14 年 「メッセ・コンベンション等交流施設」用地先行取得【広島市】

- 約 10.5ha、約 115 億円(このうち、現在の所有地は約 8.0ha、約 85 億円)

平成 15 年 「財政非常事態宣言」、「公共事業見直し委員会」【広島市】

平成 16 年 「大規模プロジェクトに関する方針」事業一旦中止【広島市】

平成 22 年 「広島港港湾計画」一部変更【広島県】

- 社会経済情勢の変化に伴う、国際物流機能の強化やメセコン計画全体の見直し

※メセコン関連用地 約 17ha(当初計画から約 35ha の減)

【マツダスタジアムの整備に伴う多目的スタジアム計画の見直し  
・広島特別支援学校の移転に伴う見直し など

平成 31 年 「広島港港湾計画」改訂【広島県】

- 社会経済情勢の変化に伴う、国際物流機能の強化やメセコン計画の見直し

※メセコン関連用地 約 8ha(当初計画から約 44ha の減)

【オフィスビル等のコンベンション支援施設計画の見直し など

本市所有のメセコン用地

【商工センター地区】メセコン(展示)の短・中期的拠点地区

出典：国土地理院ウェブサイト  
(<https://maps.gsi.go.jp/>)を加工して作成

【商工センター地区】メセコン(展示)の短・中期的拠点地区

出典：国土地理院ウェブサイト  
(<https://maps.gsi.go.jp/>)を加工して作成

平成 25 年 「広島商工センター地域経済サミット」設立【サミット】

- 地区内の各種事業組合等で構成、事務局：協同組合広島総合卸センター

平成 29 年 「商工センター地区まちづくり提案」取りまとめ【卸センター】

平成 30 年 「広島における MICE のあり方提言」取りまとめ【広島商工会議所】

- 観音地区に大規模 MICE 施設整備の提言(広島県が検討⇒整備を見送り)
- 商工センター地区に中規模 MICE 施設整備の提言(広島市が検討)

令和元年～4 年 「商工センター地区活性化検討会 MICE 部会」開催【広島市】

令和 4 年 「商工センター地区街づくり提案」取りまとめ【サミット】

令和 5 年～6 年 「商工センター地区まちづくりビジョン検討会」開催【広島市】

令和 7 年 3 月 「商工センター地区まちづくりビジョン」策定【広島市】

- 「MICE 施設の新設」や「交通機能の強化」、「にぎわいの創出」を基本コンセプトに位置づけ



2 新たなMICE施設整備に係る基本方針

- 本市の MICE の拠点づくりは、昭和 60 年に策定した「メッセ・コンベンションシティづくり基本構想」において示された、短・中期的には「都心地区(会議)」と「商工センター地区(展示)」、長期的には「出島地区(会議、展示)」という考え方にに基づき、これまで本市の都市計画マスタープランや広島港港湾計画とも整合性を図りながら進めてきました。
- 具体的には、都心地区では、立地適正化計画などにより、会議機能を担うホテルやホール等の高次都市機能の集積を促進し、商工センター地区では、「中小企業会館(昭和 55 年建築)」を展示拠点に位置づけ、これまで多くの展示会等を開催するとともに、出島地区においては、会議・展示施設の検討を継続して進めてきました。
- そうした中で、出島地区においては、社会経済情勢等の変化に対応するため、港湾計画の見直しが適宜行われ、本市が土地を取得した平成 14 年当時の「国際物流と国際交流拠点」という地区の位置づけは維持しつつも、現在では、国際物流の拠点性の更なる強化とともに、メセコン計画の見直しが図られるなど、検討当初から環境が大きく変化している状況です。
- 一方、商工センター地区では、中小企業会館を始めとする地区内の各施設の老朽化が進んできたことから、令和 4 年に地区内の事業者等が「自分たちの地域を何とか活性化させたい」という思いで、MICE 施設の整備を柱とした「街づくり提案」を本市に提出しました。これを受けた本市は、その実現可能性を検討する中で、現在の施設利用者や新規利用者による拡大需要が見込める新たな MICE 施設(展示)の整備を盛り込んだ「商工センター地区まちづくりビジョン」を令和 7 年 3 月に策定し、その実現に向けて取組を進めているところです。
- こうした同地区のまちづくりは、現在、本市が進める「都心の大改造」や「都心周辺部の大改造」を加速させ、「集約型都市構造」の実現に寄与する取組であり、また、出島地区における環境変化との整合性等も踏まえ、新たな MICE 施設の整備地は商工センター地区とし、同地区での整備実現を目指します。

3 新たなMICE施設の事業手法

- 他都市の類似事例を参考に、事業手法を以下のとおり整理しました。今後、新たなMICE施設の整備に当たっては、民間活力の活用を基本に事業手法の検討を進めていきます。

表 MICE施設の事業手法(例)

事業手法		事業概要	公共・民間の役割分担			
			設計・建設 (Design・Build)	管理運営 (Operate)	資金調達 (Finance)	施設所有
公設公営	従来方式	公共直営	公共	公共	公共	公共
公設民営	指定管理	公共が施設整備し、 管理運営を民間委託	公共	民間	公共	公共
	DBO	公共が施設整備から 管理運営を民間委託	民間	民間	公共	公共
民設民営	PFI(BTO)	公共が資金調達から 管理運営を民間委託	民間	民間	民間	公共

4 今後の進め方

- 新たな MICE 施設については、今後、商工センター地区まちづくりビジョン及び本基本方針に基づき、展示機能に主体を置いた施設を 10 年以内に商工センター地区に整備することを目指し、具体化に向けた検討を進めます。
- なお、出島地区のメッセ・コンベンション等交流施設用地については、広島港の港湾計画や長期構想を踏まえながら、港湾管理者である県と今後の対応を検討していきます。

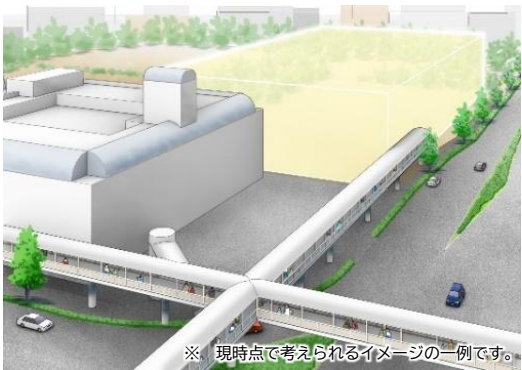


図 商工センター地区における新たな MICE 施設のイメージ

5 広島型「エリア MICE」について

- 今後、商工センター地区に新たな MICE 施設を整備することにより、昭和 60 年に策定した「メッセ・コンベンションシティづくり基本構想」において示された、都心に多様な MICE 施設がコンパクトに集積しているという本市の特徴を活かし、複数の施設や地域が一体となって魅力的な MICE を開催する広島型「エリア MICE」の実現を加速させるとともに、各施設や関係者等との連携の下、エリア内・外の移動利便性の強化に向けて、ウォーカブルなまちづくりや公共交通サービスの充実・強化による回遊性の向上にも取り組みます。

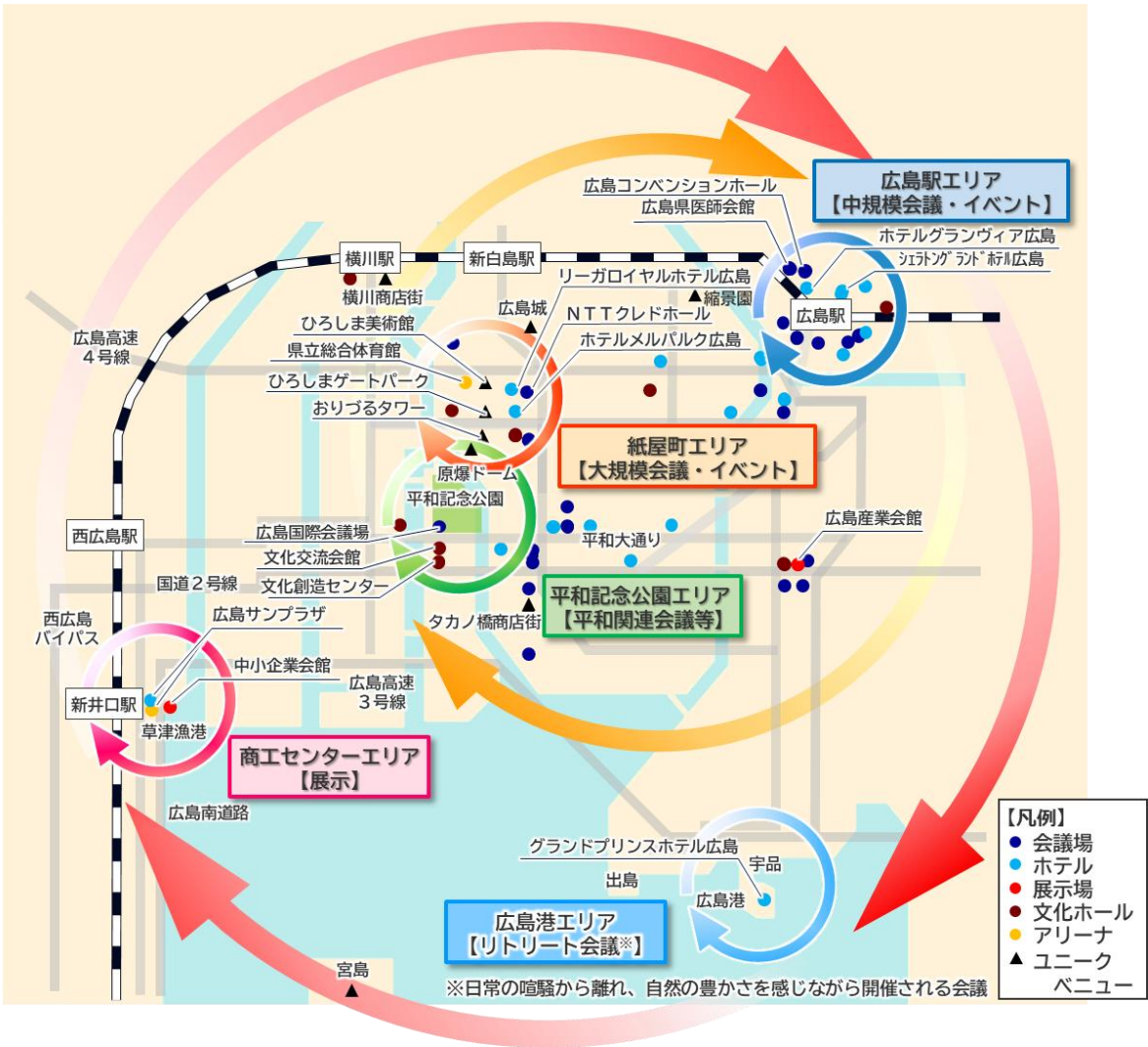


図 広島型「エリア MICE」と回遊性のイメージ



MICEの分類と関連施設の類型整理

- 開催されるMICEに応じて適合する施設は異なるものの、MICEの種類は、会議・交流型の「M(企業会議)」、「I(研修・報奨旅行)」、「C(国際会議)」と、展示・集客型の「E(展示・イベント)」の2つに大別して整理することができます。

表 MICEの分類と主として使用される施設の種類の種類

MICEの 分類  施設の 種類	会 議 ・ 交 流 型				展 示 ・ 集 客 型	
	Meeting	Incentive	Convention		Exhibition/Event	
	企業会議	報奨・研修旅行	総会・大会 式典等	学会等	展示	イベント コンサート等
	・パーティーや宿 泊を伴う企業 会議	・パーティーや宿 泊を伴う企業 研修やインセン ティブツアー	・学術会議や国際会議 ・総会、大会、式典		・業界展示会・ 見本市、企業 販促商談展 示会	・文化・スポーツ などエンター テインメント
会議場	○	○	◎		△	△
ホテル	◎	◎	○		△	×
展示場	×	△	○	△	◎	○
文化ホール	×	×	○	△	×	◎
アリーナ	×	△	○	×	○	◎

凡例：◎>○>△>× … MICE施設別に対する大まかな適合度  
出典：㈱コングレ「IRを活用したMICE誘致の効果等」(2017年)をもとに作成

「会議場」と「展示場」の施設規模の大都市圏※比較と施設稼働率

※総務省設定の都市圏（中心市（人口50万人以上）への通勤・通学比率が1.5%以上の周辺自治体圏域）のうち、東京都特別区及び政令指定市が中心市の11の都市圏（札幌、仙台、関東、新潟、静岡、浜松、中京、近畿、岡山、広島、北九州・福岡、熊本）

【会議場】

- 都市圏人口に対する会議場の総収容人数を比較した結果、広島大都市圏は人口規模に準じた会議室を有しているといえます。
- また、代表的な会議施設である広島国際会議場(大ホール)の直近1年間(令和6年10月～令和7年9月)の日稼働率は48.5%(令和5・6年度平均稼働率は42.9%)で、拡大需要に対する受入れ余地も有しています。

【展示場】

- 都市圏人口に対する展示場の総展示場面積は、広島大都市圏は人口規模に対して約7,000m<sup>2</sup>展示面積が小さいといえます。
- また、全国の平均展示面積約6,000m<sup>2</sup>(令和6年開催分(出典：㈱ピーオーピー調査))に対して、市内の広島産業会館(展示総面積5,500m<sup>2</sup>)や中小企業会館(展示面積2,640m<sup>2</sup>)では展示面積が小さいといえます。

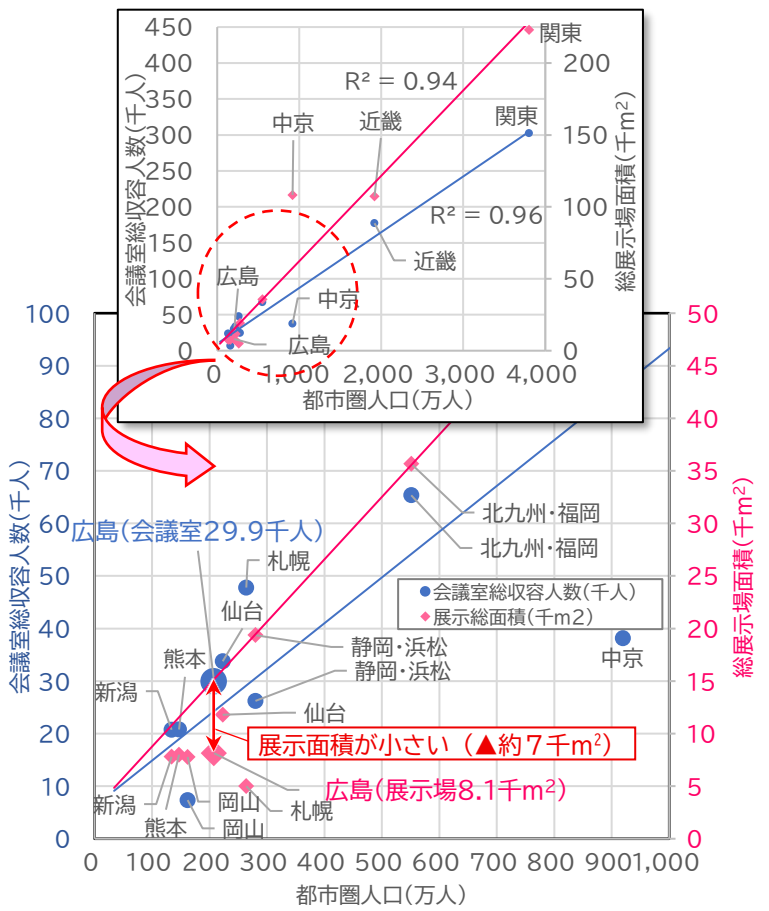


図 都市圏人口当たりの施設規模

出典：ホームページ等の公表資料により作成

- 中小企業会館の直近1年間(令和6年10月～令和7年9月)の日稼働率※は61.3%(令和5・6年度平均稼働率は58.3%)であり、今後、需要が拡大した場合は受入れ余地が不足する可能性があります。

※展示場の日稼働率は7割程度が上限(会期+設営・撤去+メンテナンス+空日調整等が必要)  
(経済産業省「特定複合観光施設区域整備推進会議資料」平成29年5月)

展示場の需要調査

- 現在の中小企業会館の利用者へのアンケート調査や、展示会等の主催者へのヒアリング調査結果等から、約6,000m<sup>2</sup>の展示施設の需要を確認しました。

表 展示面積の需要調査結果

区分	内 容	展示面積の需要(m <sup>2</sup> )
既存需要	既存利用者(中小企業会館)の利用実績	1,680
拡大需要	アンケート調査による既存利用者の拡大需要	1,388
新規需要	アンケート調査による既存利用者の新規催事開催需要	2,001
逸失需要	他の利用と重なったことなどにより利用を断った需要	475
潜在需要	ヒアリング調査による中小企業会館の既存利用者以外(全国規模及び本市内で展示会等を主催している者)による催事等の需要	469
合 計		6,013

- アンケート調査: 中小企業会館の既存利用者(156者)のうち、展示室を全面利用した者(65者)を対象に令和6年に実施
- ヒアリング調査: 中小企業会館の既存利用者以外の全国規模で展示会等を主催している者(13者)を対象に令和6年に実施

出典：広島市「商工センター地区まちづくりビジョン」(令和7年3月)をもとに作成

全国、中国・四国・九州地方の主な展示場

※展示場は内部に柱がなく、分割利用ができる平土間構造が主流のため、1室最大展示面積の順で整理

◎全国の主な展示場

施設名	所在地	展示面積(m <sup>2</sup> )	
		1室最大面積	総面積
幕張メッセ	千葉市	54,000	72,000
Aichi Sky Expo	愛知県常滑市	50,000	60,000
東京ビッグサイト	東京都	25,690	115,420
ポートメッセ名古屋	名古屋市	20,160	40,236
パシフィコ横浜	横浜市	20,000	20,000
インテックス大阪	大阪市	10,535	70,078
Gメッセ群馬	高崎市	10,000	10,000
マリンメッセ福岡	福岡市	8,000	14,100
西日本総合展示場	北九州市	8,000	16,517
グランメッセ熊本	熊本県益城町	8,000	8,000
朱鷺メッセ	新潟市	7,800	7,800
夢メッセみやぎ	仙台市	7,500	8,795

◎中国・四国・九州地方の主な展示場

施設名	所在地	展示面積(m <sup>2</sup> )	
		1室最大面積	総面積
マリンメッセ福岡	福岡市	8,000	14,100
西日本総合展示場	北九州市	8,000	16,517
グランメッセ熊本	熊本県益城町	8,000	8,000
アイテムえひめ	松山市	4,500	6,000
ビッグローズ	福山市	4,476	4,974
くにびきメッセ	松江市	4,018	4,018
サンメッセ香川	高松市	4,015	5,037
出島メッセ長崎	長崎市	3,800	3,800
コンバックス岡山	岡山市	3,797	7,783
博多国際展示場&カンファレンスセンター	福岡市	2,986	5,939
中小企業会館	広島市	2,640	2,640
広島産業会館	広島市	2,565	5,500

出典：ホームページ等の公表資料により作成